

長期研修員室だより



学び×ワクワク

田隈中学校の工藤です。以前、生徒に「なんで学ぶの？」って聞かれたことをふと思い出し、「なぜ働くの？」と自問自答してみました。
みなさんはなぜ働きますか。
今、私は、教育について仲間と対話することで、日々新しい学びを得られ、働くことがワクワクするから働いています。
「働き方改革」って「もっと働きたい！」と思うことも大切かもしれませんね。だからこそ、「学び方改革」をして、「“学ぶ”ってワクワクする」「ワクワクするからもっと“学ぶ”」子どもたちがそう思える授業づくりの研究をしています！

オリンピックファンです！
日本一おめでとう！



長研室での学び

北崎中学校の柴田です。長期研修員として勤務し、1年半が経ちました。学校現場で働いていた時は、1人1台端末の導入を機に、ICTを取り入れた「生徒が主役の授業」になるよう心がけてきました。しかし、ICTの効果的な活用方法や改定された指導要領による評価、基礎的な指導技術など、自身の伸び悩みを感じていました。そのような折に、長期研修員として学ぶ機会をいただき、一から学び直しをさせてもらっています。
長研室では、他校種の先生方とじっくり話ができる機会があります。この場所での出会いと学びを大切に、他の長研の先生方と共に切磋琢磨しながら教師としての技術向上に努めていきたいです。

毎日が学びの連続！
長研は楽しいです！



よい授業ってなんだろう？

冬はあったかいお鍋！



照葉小学校の大村です。最近読んだ本にこんな言葉がありました。
「あなたが作り得るものの質は、あなたが経験したものの質を、決して上回ることはない」私自身、自分が見たことや聞いたことから、授業の着想を得ています。よい授業を知ることが、よい授業につながるとすれば、先生方の授業を参観する機会は多い方がいいですね。長期研修員では、自分が所属する校種を超えて、先生方の授業を見ることができます。全国の研究発表会に参加することもできました。多くの先生方の授業を見て、私の中の「よい授業」を更新し続けていきたいです。

長期研修員室で話題の教育書

キャンプ大好き！
別府小 山下です！



『発問上達法 -授業作り上達法PART 2-』大西 忠治 著 民衆社
別府小学校の山下です。この場をお借りして、長期研修員室で話題になった教育書についてご紹介させていただきます。
「発問がよくなかったな。」「説明がうまくいかないな。」こんなことを思ったことはありませんか？「発問」「指示」「説明」の違いは何か。それぞれのポイントは何か。この本に出会い、「教師の発問」と向き合うことができました。読めば読むほど理解が深まり、自分自身の言葉と向き合いたくなる本です。言葉が磨かれること間違いなし！

ICT研修の充実のために

小田部小学校の長村です。1人1台端末の導入により、ICT研修を行う学校が増えてきたようです。長期研修員室内でも「ICT研修をどう進めたらよいか」という話題があがるが多くなりました。私は、一般研究を通して、研修を充実させるためには、「評価できるゴールを設定すること」が大切だということを学びました。
評価できるゴールがなければ、成果や課題が見えづらくなってしまいます。また、ゴールが明確であれば、そのために何をすべきか、研修内容がより具体的になります。ICT研修は、ゴールよりも先に「ICTであれがしたいこれがしたい」という点に注目が集まりがちです。そんなときは、「今回の研修のゴールはなんだったかな」と考えなおすことで、より充実したICT研修になるのではないかと思います。

ゴールを
明確に！



お知らせ

みなさまのご参会を
お待ちしております！

令和5年2月9日(木)、10日(金)、13日(月)
の3日間、令和4年度長期研修員オンライン
報告会を開催いたします。
内容は、長期研修員が各自発見した教育課題
についての実践発表です。詳細は別紙案内を
出していますので、ご確認下さい。

お申し込みは
QRコードより



2022.12.07 発行 教育センター人材育成課